

令和6年能登半島地震に係る災害関連死の認定について

令和7年2月13日に開催した輪島市災害弔慰金等認定審査会の審査結果を踏まえ、下記のとおり令和6年能登半島地震の関連死と認定しました。

記

認定：7件

認定の内訳 ※御遺族から承諾をいただいた範囲内で公表しています。

番号	年代	性別	経緯・認定理由
1	90代以上	女性	老人福祉施設にて被災。震災によるショック・ストレス、入所施設の被災による介護環境の変化等により、心身に相当の負荷が加わったことで体力が低下して死亡。災害と死亡との間に相当因果関係があると認められた。
2	90代以上	非公表	自宅にて被災。車中泊、停電断水下の自宅での生活を経て、1.5次避難所に避難するが、感染性胃腸炎の疑いで入院。震災によるショック・ストレス、水分や食事摂取量の低下等により、心身に相当な負荷が生じ、全身状態が悪化し心不全により死亡。災害と死亡との間に相当因果関係があると認められた。
3	80代	男性	非公表
4	80代	男性	非公表
5	非公表	男性	非公表

その他2件はすべて非公表

(参考) 審査結果：審査件数12件（認定7件、不認定4件、継続1件）
災害関連死の認定総数95件